

今年度(以降)の事業計画(案)

<今年度事業>

京都式ソーシャル・プラットフォーム事業（京都府からの受託事業）

目的・概要：地域情報やコンテンツをデザインし、京都北部の情報発信力を高め、魅力ある発信を行うことにより、地域経済の活性化を促す。地域と地域、団体と団体をつなぎ、コーディネートすることにより、京都北部が一体となった活性化を進める支援を行う。またこの事により新たな雇用を創出し若者の定着に結び付ける。

京都府の受託事業実施期間：平成26年4月1日～平成26年7月31日

予算：3,486,784円

受託事業終了後

引き続き、地域をデザインして情報発信する事業を京都観光地域力アップ事業とも絡めながら実施していく。

京都観光地域力アップ事業

目的・概要：京都府北部にインバウンド観光で外国人の観光客を呼び込むための事業を行う。

京都市内に集中していた外国人観光客を、外国人目線に立った京都北部の魅力、里山の魅力を探し出し、視覚的に発信することで、京都北部の外国人ファンの増加と、ひいては外国人の京都北部への定住や、里山観光事業への若者たちの参加につなげていく。

また、今まであまり実施されてこなかった外国人観光客困りごとを洗いだし、改善・解決策を話し合うワークショップの開催などにより、京都北部が新しいインバウンドツーリズム先進地となるような環境整備を行う

実施期間：平成26年4月1日～平成27年3月30日

予算：11,876,183円

企業向けグリーンツーリズム

株ダイアスボラ（農産物の生産・販売等）を中心昨年度まで実施した京都式ソーシャル・ビジネスリーダー育成事業の研修生などと協働して、企業の福利厚生または研修の一環としてのグリーンツーリズム企画を考える、また京都観光地域力アップ事業とも絡め外国人を対象としたグリーンツーリズムとしても実施していく。

これにより、田舎と都市部との交流を図り、将来的な定住の第1歩とする。またITを活用した企業などの誘致を図る。

今年度についてはシーズン（ソーシャル・ビジネスリーダー育成事業を終了した研修生が立ち上げた農業を中心とした団体）と協働して実現を図るべく、どのようなプログラムが提供可能かを問い合わせ中。

今年度目標：1件以上

京都府中丹振興局との協働

昨年までの講座・交流会などの継続を考える中で、相談業務などを振興局からの委託などの形で実施することで中間支援の役割を果たす（振興局からの連絡を待って具体的に検討していく）

大学連携との協働

大学連携側の予算採り等が未だであるため、詳細が決まり次第検討

海の京都事業

京都府北部の海の京都事業で、ソーシャルプラットフォーム事業と京都観光地域力アップ事業の両事業を絡めて、舞鶴を中心に艦隊コレクションイベントや舞鶴カレーグランプリ等を舞鶴市や観光協会に働きかけ、その中で情報発信ツールの作成（HP、ちらし、マップ等）や企画などの仕事に繋げていく。舞鶴、丹後の各観光協会とタイアップできるような事業を行う。